

**「第2回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」  
開催について**

全日本学生自動車連盟では、8月27日(月)に地球温暖化防止のための「エコドライブ」技術を習得することを目的とした「第2回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」を開催いたします。

本大会は、全日本学生自動車連盟が、チーム・マイナス6%のプロジェクトに賛同し、加盟校自動車部と共に、地球温暖化、環境問題に対して積極的に取り組むために、それに必要となる知識や技術等を身につけ、その集大成として開催するものです。また、そこで得られた事柄を日々の自動車部の活動に生かす事で、社会的な貢献を行っていく事を目的としています。

またレース当日は、(財)省エネルギーセンターによる「エコドライブ講習」、モータージャーナリストの菰田潔氏[ 1 ]、レーシングドライバー脇阪寿一氏[ 2 ]による「エコドライブトークイベント」等を行うなど、レースに参加する学生に対して、エコドライブの啓発を行います。

「第2回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」の詳細については、以下の通りです。

**開催概要**

- 大会名称 : 「第2回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」
- 開催日 : 2007年8月27日(月)
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース及び交通教育センター  
(三重県鈴鹿市、<http://www.suzukacircuit.jp/>)
- 主催 : 全日本学生自動車連盟
- 後援 : 警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省
- 特別協賛 : 鈴鹿市、(財)省エネルギーセンター、(社)日本自動車工業会、コカ・コーラ、(株)モビリティランド
- 協賛 : (社)全日本トラック協会、昭和シェル石油(株)、(株)ブリヂストン、(株)ウェッズ、三重トヨタ自動車(株)、前澤工業(株)、カーランドバーデン、(社)鈴鹿法人会チーム・マイナス6%委員会
- 特別協力 : チーム・マイナス6%
- 協力 : (株)TBS ラジオ&コミュニケーションズ、ニッポンレンタカーアーバンネット(株)
- 競技種目 : タイム及び燃費競争方式エコドライブコンテスト
- 内容 : 既定されたコース(3種類)を同一条件の車両3車種で走行し、合計のポイントによって順位を競う競技。
  - 1. 高速走行ステージ      レーシングコース主体に走行、ピットイン義務
  - 2. 一般走行ステージ      レーシングコース+外周路、交通教育センター
  - 3. 貨物ステージ          外周路、交通教育センター主体、貨物配送義務
  - ・ 競技車両 : 3車種(レンタカーを使用)
    - 普通自動車    2車種(コンパクトカー、セダン)
    - 貨物自動車    1車種(4ナンバーバン)
  - 3ステージで構成(1チーム2名 ドライバー、ナビゲーター)
  - ・ 走行条件 : 窓は全閉、エアコンはONなど同一条件が課せられる。



- ・ポイント：全コースでの区間タイム順位+燃費の合計ポイント及び3車種・3コースを走行した合計ポイントにて総合成績を決定する。  
 ステージ...各車種に定められた競技コースのスタートからゴールまで

参加条件：全日本学生自動車連盟加盟の学生自動車部の部、及び一般の部(後援協賛の団体・企業、鈴鹿市民、メディア、大学OB、等のチーム)  
 競技参加者は普通自動車免許取得後一年以上のもの(性別・年齢不問)  
 ナビゲーターに限り普通免許不要(ただし一般の部は年齢満16歳以上のこと)

**プログラム(予定)**

- 8:00~12:00 座学講習、競技講習、試走等
- 12:00~12:30 開会式
- 13:00~15:00 競技
- 16:00~17:00 表彰式、閉会式

**参加チーム(予定)**

参加チーム数：52チーム(学生35チーム、一般17チーム)  
 選手206名(1チーム2名、ドライバー、ナビゲーターで構成)

学生の部			学生女子の部		一般の部		
1	同志社大学A	25	近畿大学	31	同志社大学	36	コカ・コーラチームA
2	東京農業大学	26	全日本学生自動車連盟	32	聖心女子大学	37	コカ・コーラチームB
3	京都産業A	27	同志社大学B	33	京都産業大学	38	コカ・コーラチームC
4	鳥取大学	28	京都産業大学B	34	東京農業大学A	39	コカ・コーラチームD
5	東海大学	29	慶應義塾大学B	35	東京農業大学B	40	コカ・コーラチームE
6	専修大学	30	日本大学B			41	コカ・コーラチームF
7	愛知工業大学					42	鈴鹿市民チーム「あずさ2号」
8	工学院大学					43	鈴鹿市民チームモトハチロク
9	千葉工業大学					44	鈴鹿市民チーム中国四川料理
10	青山学院大学					45	鈴鹿法人会A
11	神奈川大学					46	鈴鹿法人会B
12	中央大学					47	チーム・マイナス6%
13	明治大学					48	昭和シェル石油チーム
14	慶應義塾大学A					49	チームS・I・A
15	大阪工業大学					50	博報堂チーム
16	日本大学A					51	チームヤマキ
17	関西学院大学					52	TBSラジオチーム
18	立教大学						
19	早稲田大学						
20	広島大学						
21	立命館大学						
22	法政大学						
23	福岡大学						
24	阪南大学						



[ 1 ] 菰田 潔 (こもだ きよし)

1950年神奈川県生まれ。学生時代から自動車レースを始め、タイヤのテストドライバーになる。33歳でフリーのモータージャーナリストに転向。2007-2008日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員、JAF交通安全委員会委員、セーフティドライビング・インストラクター・アカデミー会長、BMWドライバー・トレーニング・チーフインストラクター等、多数の肩書きを持つ。著書に「BMWの運転テクニック」「脱・常識運転のすすめ」「ドライビングの常識・非常識」等。クルマを運転するのが大好きというモータージャーナリスト。



[ 2 ] 脇阪 寿一 (わきさか じゅいち)

レーシングドライバー。多忙なレース活動に加え、「モータースポーツの認知度UP」と「サーキット来場者を増やしたい」という想いから、TV・雑誌・イベント等、レース以外の様々な活動も精力的にこなしている。1996年全日本F3選手権シリーズチャンピオン、98年F1ジョーダン無限ホンダテストドライバー、2002年全日本GT選手権シリーズチャンピオン、2006年スーパーGTシリーズチャンピオン、ドライバー&チームダブルタイトル獲得。2007年は、「スーパーGT2007」シリーズに「TOYOTA TEAM TOM'S」より「宝山 TOM'S SC430」にて参戦中。

コース概要



会場案内図(広域)



全日本学生自動車連盟



**【全日本学生自動車連盟について】**

全国 121 大学の自動車部が加盟する、国内最大の学生モータースポーツ運営組織。

会長：長谷川聰哲

所在地：東京都江東区森下 1-15-7 〒135-0004

TEL/FAX：03-3634-9197

U R L：<http://www.ajsaa.com/>

E- mail：webmaster@ajsaa.com

**「第1回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」活動記録**

開催日程：2006年8月21日(月)

参加チーム：学生の部 47 チーム、一般の部 3 チーム

**エコドライブ講習会**



受付コーナーでのチーム・マイナス6%  
活動の普及啓発パネルの展示



(財)省エネルギーセンター エコドライブ推進部長  
谷口正明氏によるエコドライブ講習

**競技スタート**



ルマン式スタート



各車に付けられた計測器



各チームはコーラ、マーチ、プロボックスの3車種を乗り継いでエコドライブを競った



大会参加者の記念撮影

**「第2回全日本学生対抗チーム・マイナス6%エコドライブコンテスト」取材申込方法について**
**8月23日(木)午前中締め切り**

- \* ご取材の際は事前に**鈴鹿サーキットへの取材申請**手続きが必要となります。
- \* 申請についてはWEB上での**暫定メディア申請**が必要となります。

**申請手続きへの流れ**

取材申請されたい方(または複数名での場合は代表者の方)のメールアドレスとご連絡先電話番号を 広報・宣伝販促室 メディア事務局 まで ご連絡ください。

メールアドレス送付先: **FAX: 059 - 378 - 4568**

(取材に関するお問い合わせ先)

(株)モビリティランド 鈴鹿サーキット 広報・宣伝販促室 相馬・上河内・滝川  
**. 059 - 378 - 5101**

メディア事務局より、申請の手続きに関するご案内をメールにてお送りいたします。受け取られた申請用アドレスよりメディア専用サイトにお入りいただき、該当イベントを選択し、入力をお進めいただきます。(取材者1名に対し、一回の入力が必要となります)メディア取材規定をご確認いただき、規約に同意していただきますと取材申請が可能です。申請完了後に表示される『取材誓約書』をダウンロードいただきます。必要事項の記入 及び 捺印の上、取材当日にメディア受付にご提出ください。

- \* 映像・動画系媒体、インターネット関係媒体様については、別途『映像使用についての誓約書』が必要となります。取材日5日前までに送付いただく流れとなります。
- \* 申請方法に関するご不明な点、お問い合わせは  
 (株)モビリティランド鈴鹿サーキット 広報・宣伝販促室  
 TEL:059 - 378 - 5101 FAX:059 - 378 - 4568 までお問い合わせください。

注) 27日(月)ご取材前には必ずコントロールタワー2Fメディアセンターにて取材受付を行って下さい。当日ご取材に必要なパスをお渡し致します。併せてSMSC共済会のご加入をお願いいたします。当日は取材誓約書を必ずご持参ください。(責任者署名、社印の押印漏れなどないよう、ご注意ください)

**ご参考 【メディアセンター メディア受付手順】**

メディアセンターで下記の通りメディア受付を行います。

1. 取材誓約書のご提出
2. メディア共済会のご入会

ご取材されるメディアの皆様は「SMSCメディア共済会」にご加入いただいております。

ご加入にあたり下記の共済会費が必要となります。発行パス種はご希望に沿えない場合がございます。

**暫定メディアパス**

Aパス:トラック・ピットレーン・ピット&パドック = 5,000円

BPパス:トラック・ピット&パドック = 3,000円

BJパス:ピットレーン・ピット&パドック = 3,000円

Cパス:ピット&パドック = 2,000円

3. メディアパスを配布